防災情報収集に関するアンケート調査
結果報告書

令和6年10月

茅 ヶ 崎 市

- 目　次 -

Ⅰ　調査概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

Ⅱ　項目別分析
１．回答者の属性
(1)　年代・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
(2)　住まいの地域・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
(3)　世帯の人数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
(4)　日中を過ごす場所・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4

２．回答者のスマートフォンやタブレット端末の所有状況や操作の習熟度・・・・ 5
(1)　スマートフォンやタブレット端末の所持・・・・・・・・・・・・・・・・5
(2)　普段利用する機能（スマートフォン等所持者）・・・・・・・・・・・・・6
(3)　普段利用する情報収集手段（スマートフォン等未所持者）・・・・・・・・・7

３．　防災情報の収集について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8
(1)　災害時に知りたい防災情報・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8
(2)　災害時に主に情報収集する手段・・・・・・・・・・・・・・・・・・9
(3-1)　災害時に利用したい市からの情報の収集方法・・・・・・・・・・・・・１０
(3-2)　市の情報発信媒体を利用しない理由・・・・・・・・・・・・・・・・・１１
(3-3)　災害時に市の情報発信媒体として有ると良いもの（自由記載）・・・・・・１２

４．　防災行政用無線情報の収集について・・・・・・・・・・・・・・・・１４
(1)　防災行政用無線の聞き取り状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・１４
(2)　防災行政用無線の補完手段・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１５

Ⅲ　アンケート調査依頼・別紙・・・・・・・・ ・・・・・・・・・・・・・・・１７

Ⅰ．調査概要

1．調査目的

本調査は、今後、市民が所有する媒体への効果的な情報発信やランニングコストなどの費用負担を加味した防災情報の配信の在り方について検討していく前段として、市民の防災情報の取得方法等の傾向を把握するために実施することを目的としています。

2．調査対象者

無作為抽出による市内在住の 18 歳以上の市民（3,000 人）

3．調査方法

郵送で配布し、郵送とインターネット（e-KANAGAWA 電子申請システム）の併用で実施しました。

30 歳未満（500 人） 30 歳代 （500 人） 40 歳代 （500 人） 50 歳代 （500 人）	はがきで郵送しスマートフォン等からインターネットで回答 インターネットを使用しない方は個別に郵送対応（2,000 人）
60 歳代 （500 人） 70 歳以上（500 人）	封筒で郵送し記入した回答用紙を返信用封筒で返送し回答 インターネット回答も可能 （1,000 人）

4．主な調査項目

・スマートフォンやタブレット端末の所有状況
・スマートフォン操作の習熟度（所持のみ／電話メールのみ／アプリを活用）
・気象情報や防災情報に関して普段使用しているアプリやSNS
・気象情報や防災情報の収集方法（防災無線／ネット／公共放送／家族知人）
・防災行政無線の聞こえやすさ（聞こえない／不明瞭／聞こえる）

5．回収結果

（1） 回収数 918（回収率 30.6%）

6．その他

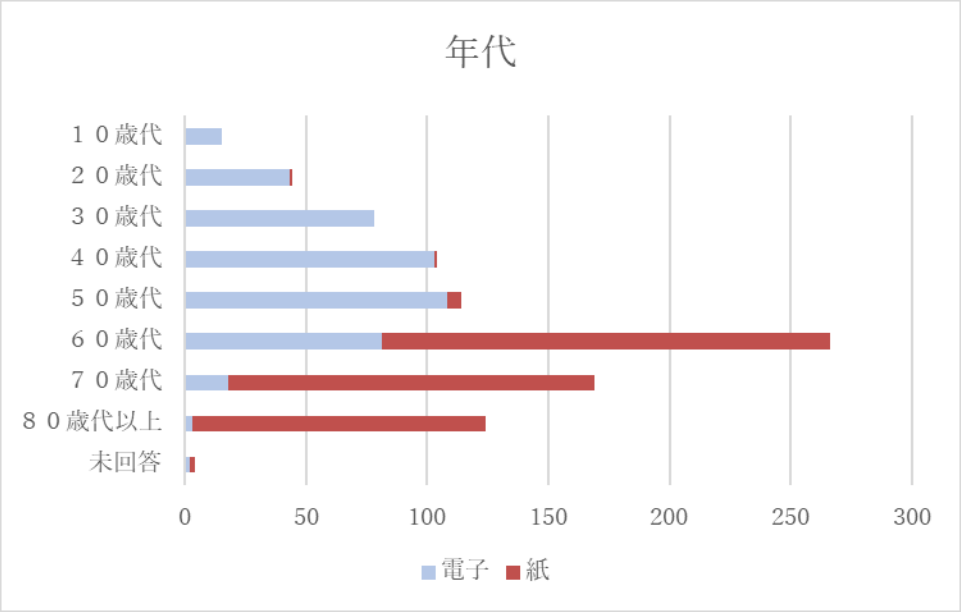
(1) 項目別分析における「電子」はインターネットを使用しての回答、「紙」は郵送での回答のことです。
(2) 集計数表は、小数点第2位を四捨五入して算出しています。そのため、回答比率を合計しても、100％にならない場合があります。

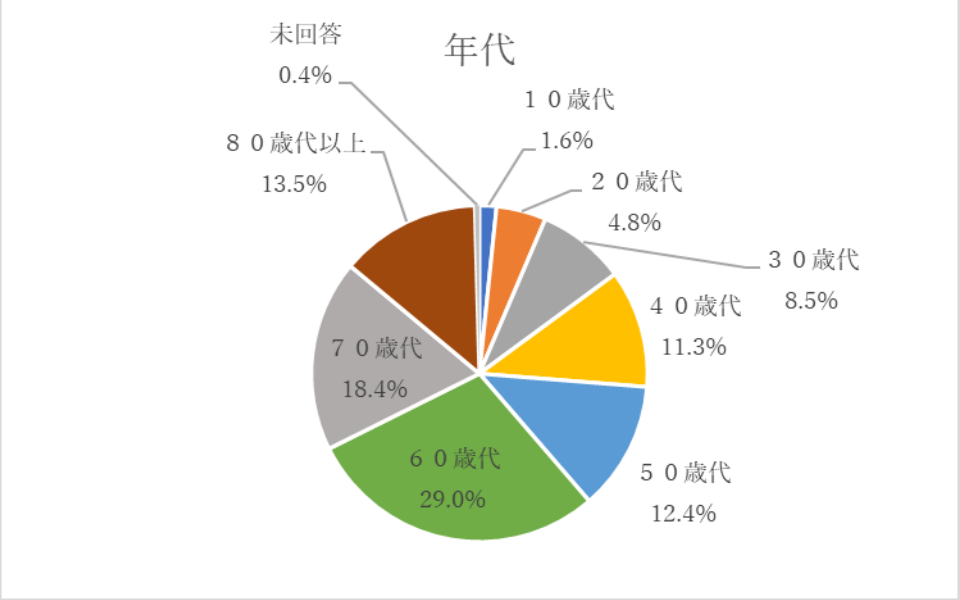
Ⅱ．項目別分析

1．回答者の属性

(1) あなたの年代を教えてください【問1】

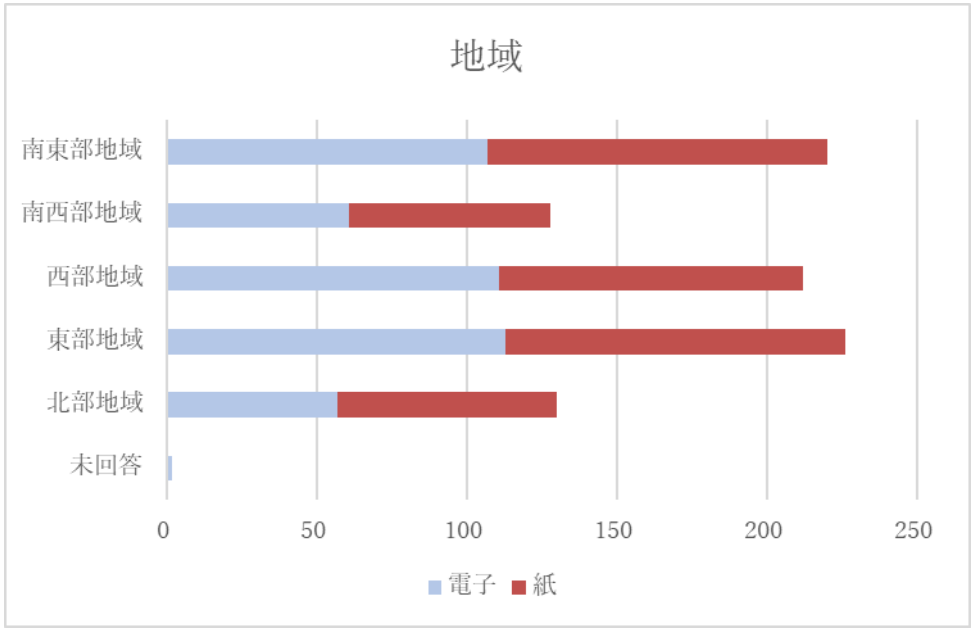
	電子	紙	合計	合計に占める割合
10歳代	15	0	15	1.6%
20歳代	43	1	44	4.8%
30歳代	78	0	78	8.5%
40歳代	103	1	104	11.3%
50歳代	108	6	114	12.4%
60歳代	81	185	266	29.0%
70歳代	18	151	169	18.4%
80歳代以上	3	121	124	13.5%
未回答	2	2	4	0.4%
合計	451	467	918	100.0%

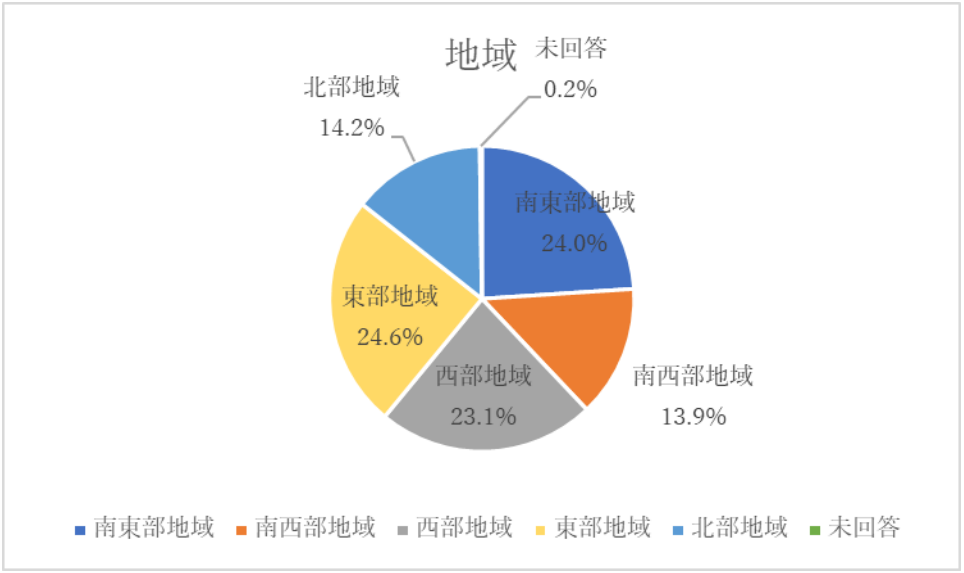




(2) あなたのお住まいの地域を教えてください【問2】

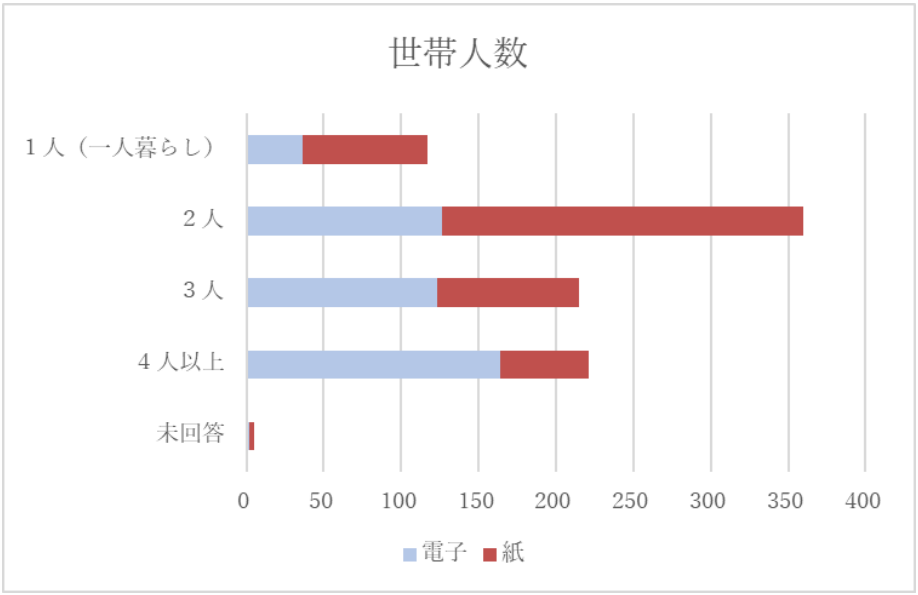
	電子	紙	合計	合計に占める割合
南東部地域	107	113	220	24.0%
南西部地域	61	67	128	13.9%
西部地域	111	101	212	23.1%
東部地域	113	113	226	24.6%
北部地域	57	73	130	14.2%
未回答	2	0	2	0.2%
合計	451	467	918	100.0%





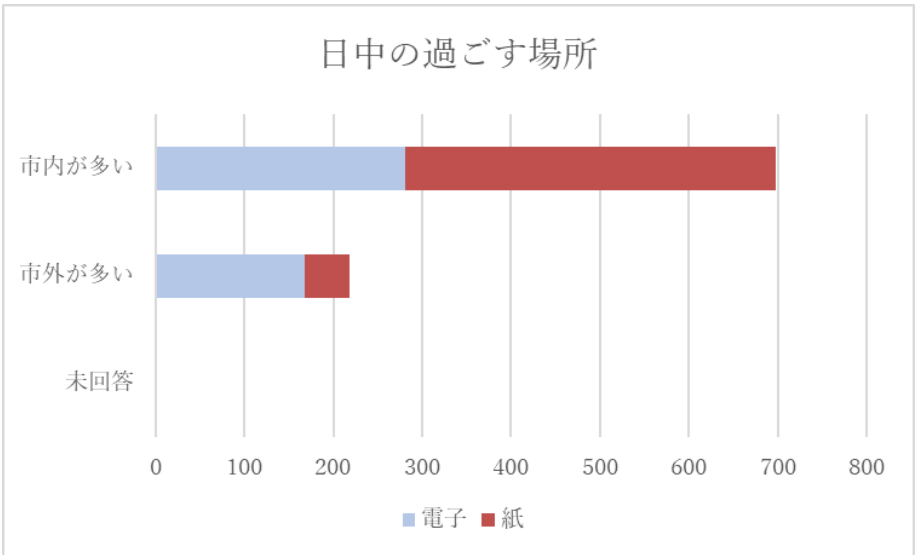
(3) 同居する世帯(ご家族など)のあなたを含めた人数を教えてください【問3】

	電子	紙	合計	合計に占める割合
1人(一人暮らし)	36	81	117	12.7%
2人	126	234	360	39.2%
3人	123	92	215	23.4%
4人以上	164	57	221	24.1%
未回答	2	3	5	0.5%
合計	451	467	918	100.0%



(4) 日中はどこで過ごすことが多いですか【問4】

	電子	紙	合計	合計に占める割合
市内が多い	281	416	697	75.9%
市外が多い	168	51	219	23.9%
未回答	2	0	2	0.2%
合計	451	467	918	100.0%

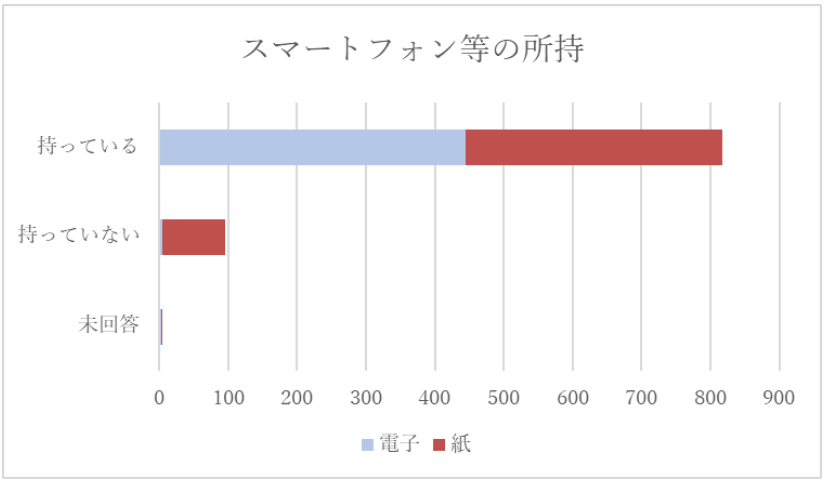


2. 回答者のスマートフォンやタブレット端末の所有状況や操作の習熟度

(1) スマートフォンやタブレット端末を持っていますか。

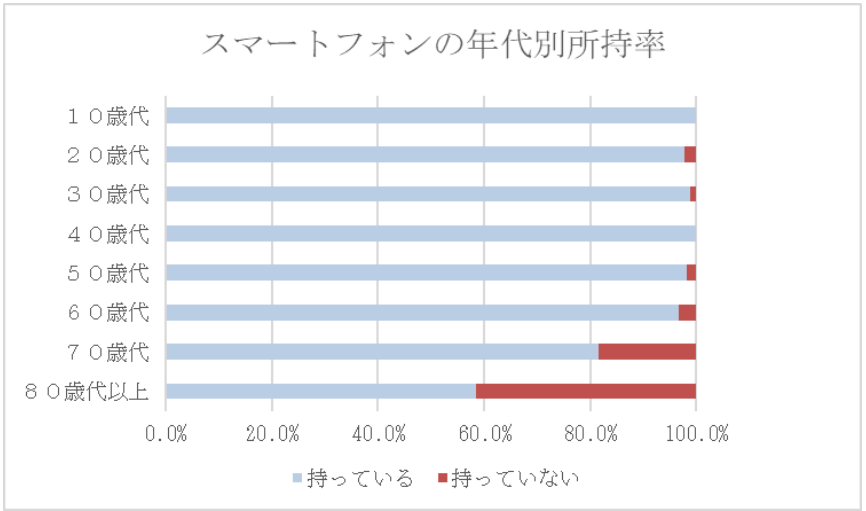
【問5－1】

	電子	紙	合計	合計に占める割合
持っている	445	373	818	89.1%
持っていない	4	92	96	10.5%
未回答	2	2	4	0.4%
合計	451	467	918	100.0%



各世代におけるスマートフォンやタブレット端末を持っている割合【問1及び問5－1】

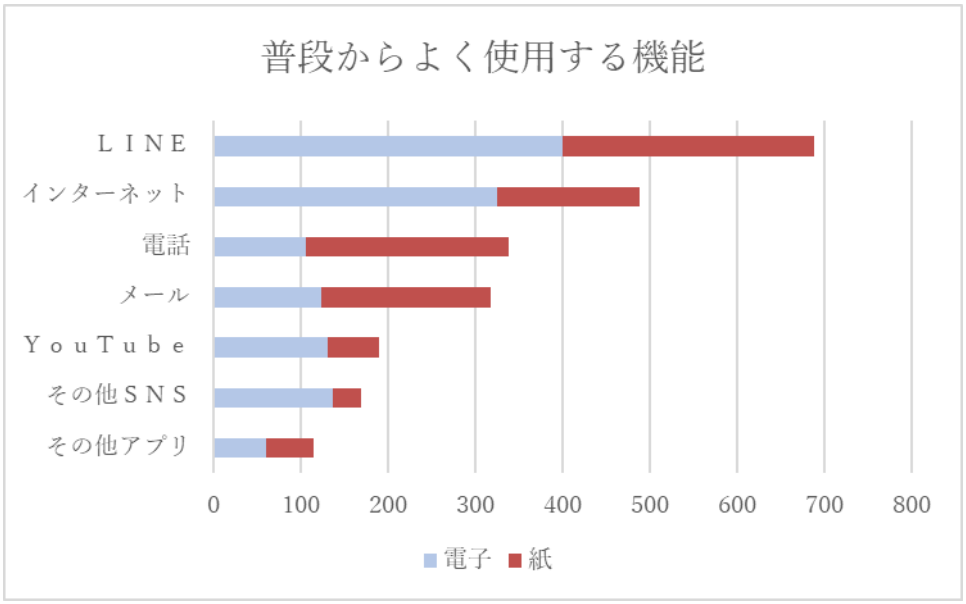
	持っている	率	持っていない	率
10歳代	15	100.0%	0	0.0%
20歳代	43	97.7%	1	2.3%
30歳代	77	98.7%	1	1.3%
40歳代	104	100.0%	0	0.0%
50歳代	112	98.2%	2	1.8%
60歳代	257	96.6%	9	3.4%
70歳代	137	81.5%	31	18.5%
80歳代以上	72	58.5%	51	41.5%



(2)(【問 5－1】で「持っている」と回答した方への質問)

普段からよく利用する機能は何ですか【問 5－2】(3つまで複数回答)

	電子	紙	合計
電話	105	233	338
LINE	399	288	687
その他SNS	137	32	169
インターネット	324	164	488
メール	124	193	317
YouTube	131	58	189
その他アプリ	60	55	115

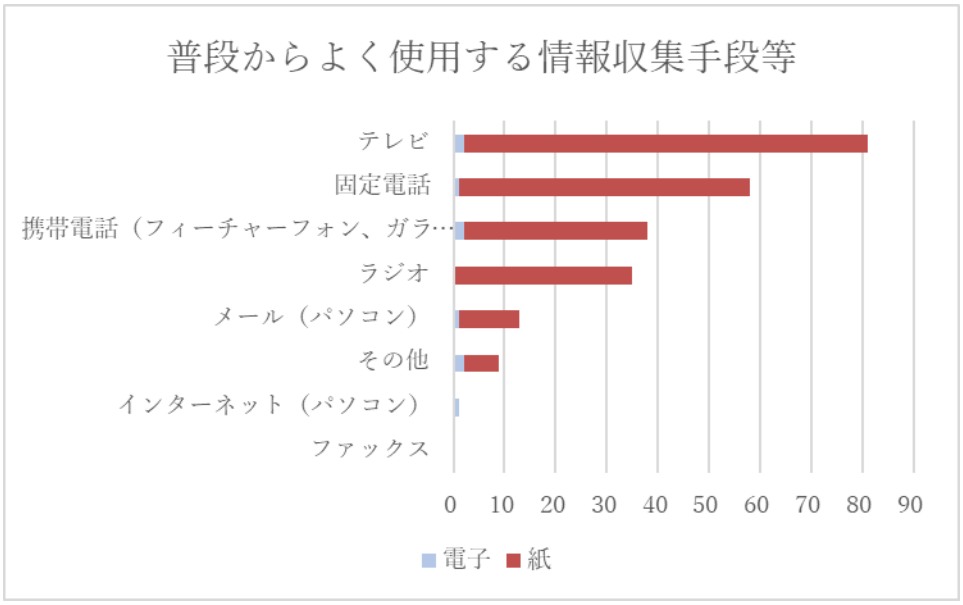


(3)(【問 5－1】で「持っていない」と回答した方への質問)

普段からよく利用している連絡手段や情報収集手段は何ですか

【問 5－3】(3つまで複数回答)

	電子	紙	合計
携帯電話	2	36	38
固定電話	1	57	58
ファックス	0	0	0
メール(パソコン)	1	12	13
インターネット(パソコン)	1	0	1
テレビ	2	79	81
ラジオ	0	35	35
その他(※)	2	7	9



※その他の意見

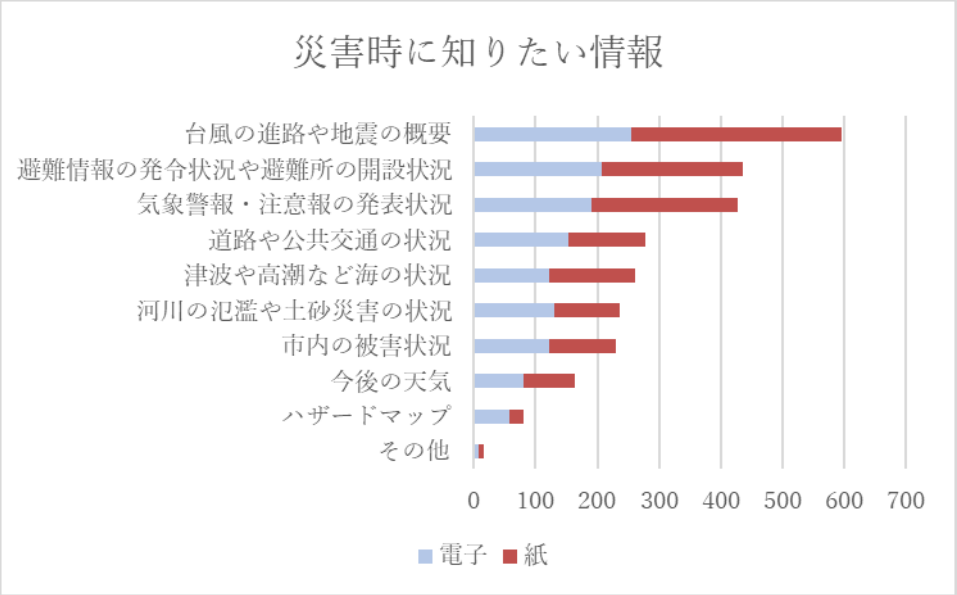
友人 ／ 新聞 ／ 主人の携帯電話 ／ 子供からの情報 ／ 施設の方

市の広報紙など ／ 施設にいる為家族、施設担当者等 ／ 障がいがあり、操作不能

3. 防災情報の収集について

(1) 台風や豪雨、大地震などの災害時、あなたは特に、どのような情報を知りたいですか。「10. その他」を選択の方は、(　　)内に、具体的に記入してください。【問 6】(3つまで複数回答)

	電子	紙	合計
台風の進路や地震の概要	255	341	596
気象警報・注意報の発表状況	191	236	427
今後の天気	81	82	163
ハザードマップ	57	23	80
避難情報の発令状況や避難所の開設状況	208	228	436
河川の氾濫や土砂災害の状況	130	107	237
道路や公共交通の状況	153	124	277
市内の被害状況	121	109	230
津波や高潮など海の状況	122	140	262
その他(※)	7	8	15



※その他の意見

避難所情報　／　ライフラインの安全確認　／　インフラの状況　／　家族や知人

市のスピーカーの声がきこえない　／　水、食料の配布状況、支援状況

リアルタイムの情報、専門用語でない伝え方。ヘクトパスカルって何？強風何メートルってどの位なの？　／　アンダーパスを含めた道路冠水情報　／　冠水情報／　市内に居る身内の状況

ライフラインの状況　停電とか　／　電車の遅延について

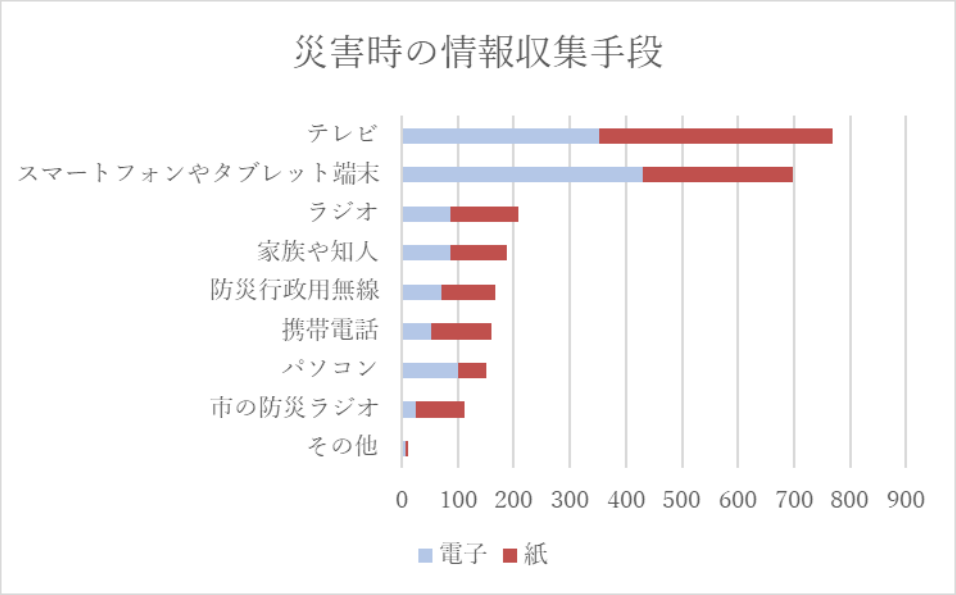
茅ヶ崎市だけではなく近隣の自治体(藤沢　平塚　寒川)の情報も欲しい

生活物資の供給見通し(生産、流通経路の機能状態や復旧の見通しなど

避難所開設してから、満杯になってしまっている。などの状況。その場合。何処に行けば良いか等の情報　／　台風・豪雨時と大地震時は知りたい情報が異なると思います

(2) 災害時、あなたは主にどのような媒体を利用して収集していますか。また、情報収集しようと考えていますか。「10. その他」を選択の方は、(　　)内に、具体的に記入してください。【問7】(3つまで複数回答)

	電子	紙	合計
スマートフォンやタブレット端末	430	267	697
パソコン	100	51	151
携帯電話	52	109	161
テレビ	352	416	768
ラジオ	86	122	208
家族や知人	87	101	188
防災行政用無線	70	97	167
市の防災ラジオ	25	86	111
その他(※)	6	5	11



※その他の意見

新聞　／　市外に住む娘　／　居住老人ホーム提供の情報　／　施設の方

JCOM の今知りたい状況　／　防災リーダーの●●さんにお伺いいたします

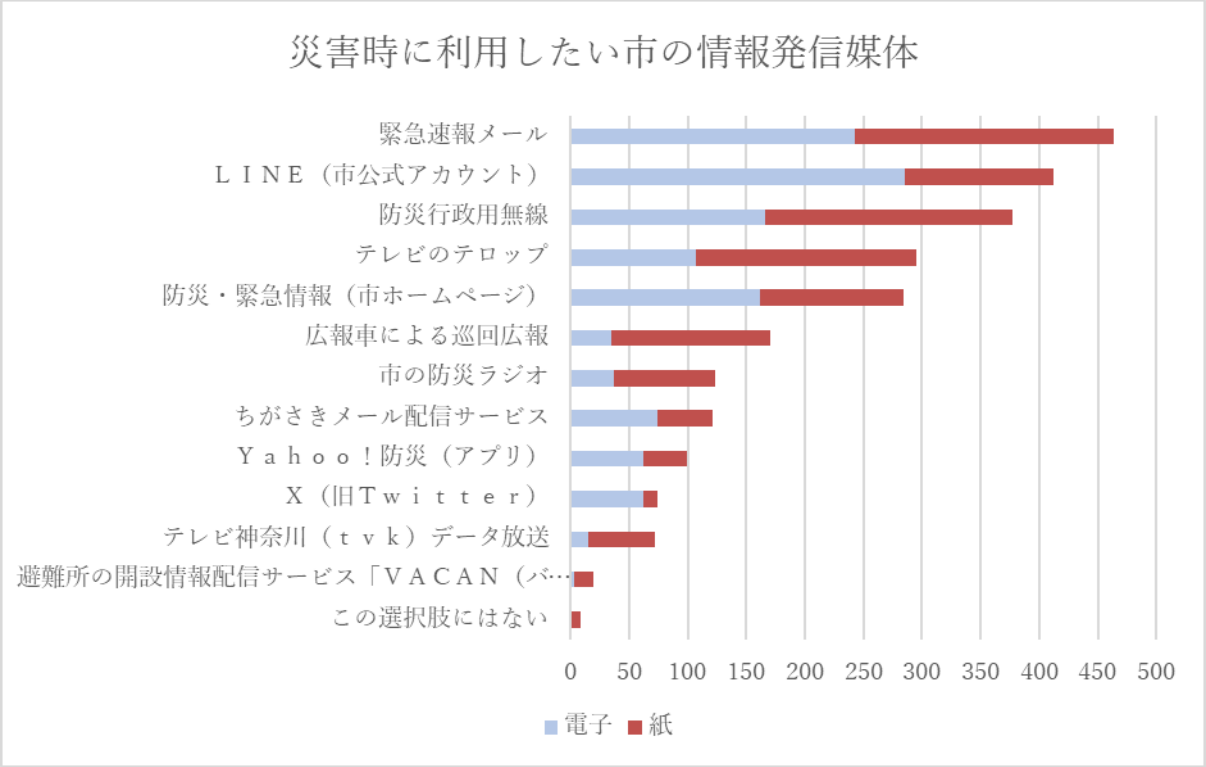
茅ヶ崎 FM で緊急時の情報収集できたら安心　／　防災無線は窓を閉めてると聞こえない

市の防災ラジオは借りていますが役に立たずしまい込んでいます

スマートフォンと携帯電話が別項目になっている理由がわかりません　／　施設職員

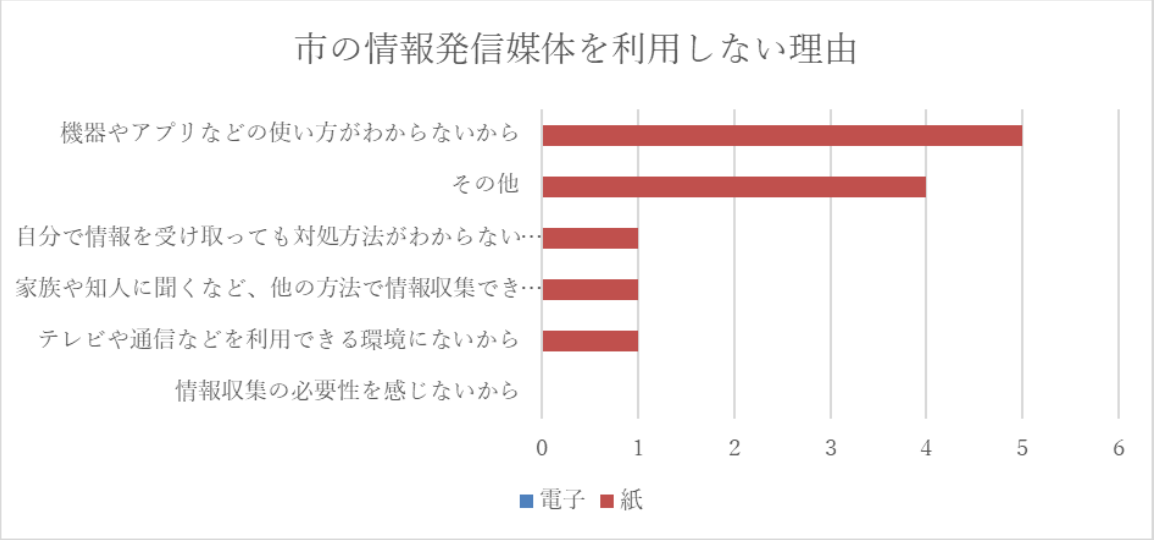
(3-1) 災害時、避難指示や避難所の開設情報など、市からの情報について、市は次の方法で情報発信しています。災害時に利用したいと思う情報収集の方法は何ですか。【問8－1】(3つまで複数回答)

	電子	紙	合計
防災行政用無線	166	211	377
防災・緊急情報(市ホームページ)	162	122	284
緊急速報メール	243	221	464
LINE(市公式アカウント)	285	127	412
X(旧Twitter)	62	12	74
テレビのテロップ	107	188	295
Yahoo！防災(アプリ)	62	37	99
ちがさきメール配信サービス	74	47	121
市の防災ラジオ	37	86	123
テレビ神奈川(tvk)データ放送	15	57	72
避難所の開設情報配信サービス「VACAN」(ホームページ)	3	16	19
広報車による巡回広報	35	135	170
この選択肢にはない	0	8	8



(3-2)【問8－1】で「この選択肢にはない」とお答えの方におたずねします。その理由はなぜですか。「6. その他」を選択の方は、(　　)内に、具体的に記入してください。【問8－2】

	電子	紙	合計	回答率
テレビや通信などを利用できる環境にないから	0	1	1	8.3%
機器やアプリなどの使い方がわからないから	0	5	5	41.7%
家族や知人に聞くなど、他の方法で情報収集できるから	0	1	1	8.3%
自分で情報を受け取っても対処方法がわからないから	0	1	1	8.3%
情報収集の必要性を感じないから	0	0	0	0.0%
その他(※)	0	4	4	33.3%
合計	0	12	12	100.0%



※その他の意見

・SMS を使ったグループメールで配信すべきです。
・AMラジオ放送
・いざとなると助けがない。
・JCOM からの茅ヶ崎の情報

(3-3)【問8－1】の選択肢以外に、市の情報発信媒体としてあると良いものなど、アイディアがあれば自由にご記入ください。(例:Instagram、防災に関する市のアプリなど)【問9】

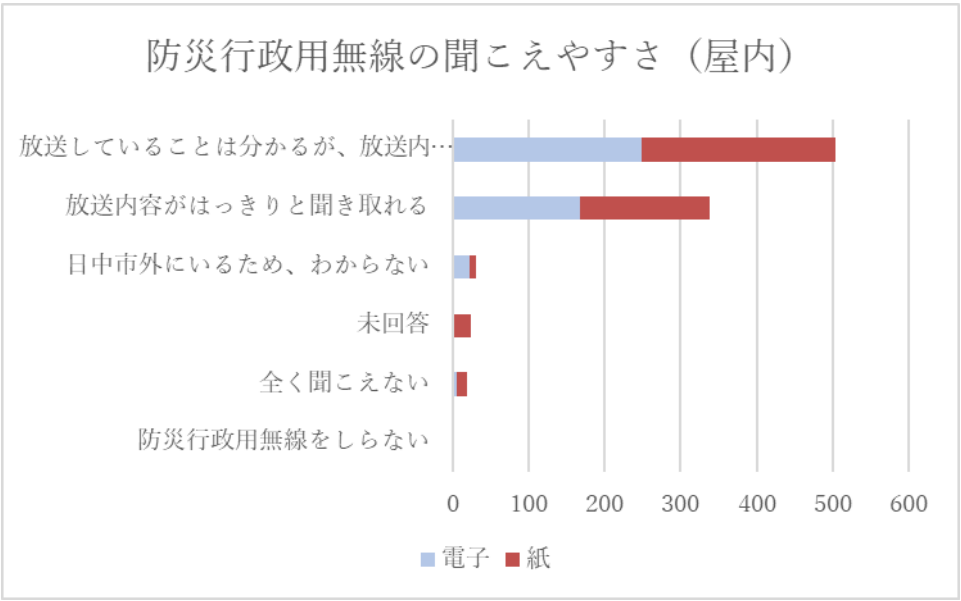
自由意見	電子	紙	合計
市のアプリ	27	5	32
Instagram	25	3	28
茅ヶ崎 FM の活用	6	4	10
屋外掲示ディスプレイの設置	4	1	5
空から情報発信(ドローン、気球やバルーン、ヘリコプター)	2	2	4
X(Twitter)	4		4
防災リーダーや自治会	1	2	3
消防車や広報車のアナウンス	2	1	3
防災 dx	2		2
防災ラジオの無償配付	1	1	2
TVK などで啓発番組や茅ヶ崎の情報発信	1	1	2
Facebook	1	1	2
自動音声電話が各個人の携帯電話や電話に自動的に流れるようにする。	1	1	2
行政と自治会防災担当の連携による情報発信		2	2
バスのデジタルサイネージ		2	2
市の情報発信媒体の周知、広報	1	1	2
緊急速報	1		1
yahooJapan 天気、地域の情報	1		1
TikTok	1		1
飲食店などで読めるようなおしゃれな情報誌(きっかけに防災意識をひろめる)	1		1
Zenly	1		1

天サイまなぶアプリ	1		1
スターリンクなどの衛星通信設備を要所に備える	1		1
防災無線と同じものが、もっと良く聞こえる媒体	1		1
ショートメール	1		1
各自治会へ連絡が取れる無線・トランシーバーチャンネル	1		1
防災ラジオを2回流してほしい		1	1
市の防災ラジオ		1	1
災害時の避難指示と避難所の開設情報、命にかかわる情報なので万全を期し、3重以上の媒体による情報発信が必要。①テレビ　②ラジオ　③スマホ ④防災無線　⑤広報車　⑥ヘリコプターなど空から		1	1
ドローンによる情報配信		1	1
市役所が水没した場合の情報発信の代替手段		1	1
電気に頼らない方法		1	1
タスキを無償配布し、災害時玄関口にかける（無事・・・ピンク、助けてください・・・黄色など）		1	1
市の HP をワンクリックで希望のページに飛べるようにしてほしい			1

4. 防災行政用無線情報の収集について

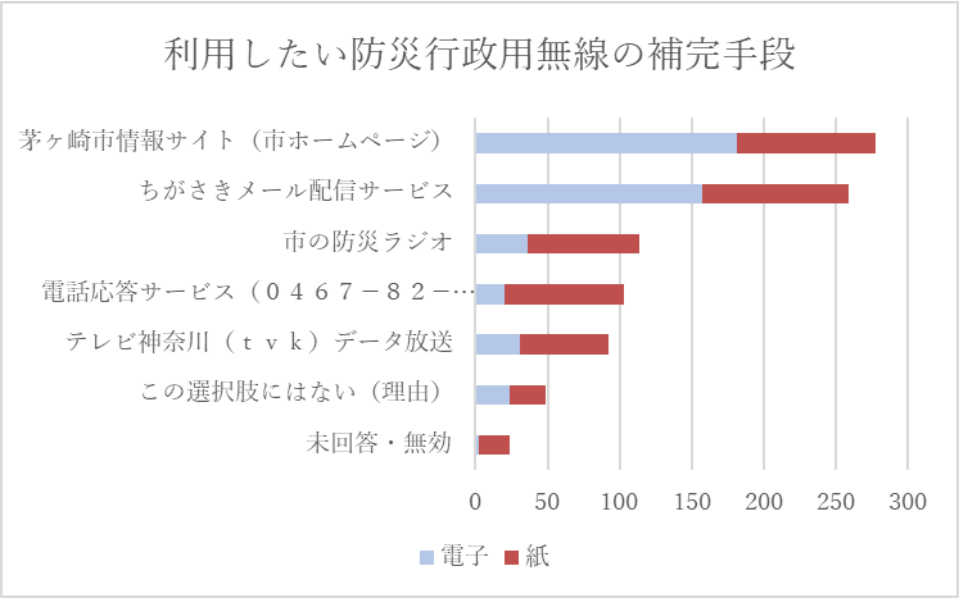
(1) 防災行政用無線は、公園や小中学校をはじめ、市内120か所に設置している屋外スピーカーで、夕方のチャイムや「こちらは、防災ちがさきです」から始まる放送を流しています。あなたのお住まいの地域の屋外で、防災行政用無線は聞こえますか。【問10】

	電子	紙	合計	回答率
放送内容がはっきりと聞き取れる	168	170	338	36.8%
放送していることは分かるが、放送内容までは聞き取れない	249	254	503	54.8%
全く聞こえない	6	13	19	2.1%
日中市外にいるため、わからない	22	9	31	3.4%
防災行政用無線をしらない	3	0	3	0.3%
未回答	3	21	24	2.6%
合計	451	467	918	100.0%



(2) 防災行政用無線の内容については、次の方法で確認できます。特に利用したいと思うものは何ですか。「6. この選択肢にはない」を選択の方は、( )内に理由を記入してください。

	電子	紙	合計	回答率
電話応答サービス(0467－82－5555)	20	83	103	11.2%
ちがさきメール配信サービス	157	102	259	28.2%
市の防災ラジオ	36	78	114	12.4%
テレビ神奈川(tvk)データ放送	31	61	92	10.0%
茅ヶ崎市情報サイト(市ホームページ)	181	96	277	30.2%
この選択肢にはない(理由)(※)	24	25	49	5.3%
未回答・無効	2	22	24	2.6%
合計	451	467	918	100.0%



※選択肢にない理由

LINE にしてほしい ／ そこまでして確認しようとは思わない ／ どれも馴染みがない
自分からアクセスする手間があるため ／ 使い方が分からないから ／ LINE
LINE で見れると良いと思います ／ 電話もメールもラジオをデータ放送もホームページもあまり使用した事がないため ／ 茅ヶ崎市 LINE で。家族が他市で確認施設に連絡確認したい
テレビ見ない、固定電話ない ／ スマートフォンで確認できる方法が欲しい。メール等はほとんど使わないため確認しないことが多い ／ メールは iPhone だと直ぐに届きません。Twitter が一番情報が早いので現時点では Twitter ／ わざわざ見ないから ／ LINE 希望です
窓を閉めたら、まったく聞こえないので、災害時は音量を上げてください
LINE 公式アカウントなら確認します ／ LINE の茅ヶ崎市公式アカウントでわかるようにしてほしい ／ LINE ／ どれも緊急時に瞬時に対応できるサービスではない。なぜここで SNS を使わないのかが疑問 ／ 普段利用していない媒体が多いため ／ LINE があるといい

Twitter 等 ／ 特になし ／ 強いて言うなら LINE、ただし積極的に読みに行こうとは思わない 利用のしかたがよくわからない ／ 茅ヶ崎FM ／ 特に確認したい内容ではなので（多分）。防災無線のほとんどは行方不明の事ばかりなので聞かなくても良いと思ってしまう ／ 確認しなくても放送の内容でわかるから ／ 行方不明者の発令 ／ よく分からない ／ スピーカーのすぐそばなので ／ 市の防災ラジオを、また販売してほしい ／ よくわからない ／ サ高住入居のため ／ 放送内容が聞き取れるように工夫してほしい ／ 老人ホームへの情報提供のやり方がわからない ／ 電話等では混雑がある、各個人に連絡出来る方法を考える
確認できることを知らなかった ／ 聞き逃した場合は、もうあきらめる。音がハウリングしてよく聞こえづらいので、そこをなんとかして下さい ／ どれも使ったことがないし、使い方が分からないどれを選択したらよいかわからない

Ⅲ　アンケート調査依頼

令和５年１２月１日

各　　位

茅ヶ崎市長　佐藤　光
（　公　印　省　略　）

令和５年度防災情報収集に関するアンケート調査への御協力について（依頼）

寒冷の候、ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。

日頃より本市の防災対策行政に御理解と御協力をいただきありがとうございます。

さて、本市では、市民の皆様が確実に防災情報を収集することができるよう、防災行政用無線をはじめ、防災ラジオやメール配信サービス、テレビ神奈川（ｔｖｋ）データ放送など、様々な媒体を活用した情報発信の環境整備を進めてきたところですが、各種サービスを導入してから概ね１０年が経過する中、今後の情報発信の在り方を見直す検討材料とするため、次のとおりアンケート調査を実施することといたしました。

つきましては、年末のお忙しい中、誠に恐れ入りますが、１２月２９日（金）までに、別紙のアンケート調査に御協力くださいますようお願いいたします。

１　調査期間　令和５年１２月１日（金）から１２月２９日（金）まで

２　調査対象　市内在住の１８歳以上の男女３，０００人（各年代５００名ずつ無作為抽出）

３　回答方法　アンケート調査票に御記入いただき、同封の返信用封筒にて返送するか、
スマートフォン等によるインターネットにて御回答ください。
インターネット回答は、下記の二次元コードを読み取るか、次のＵＲＬにアクセスしてください。

＜二次元コード＞　　＜ＵＲＬ＞

https://dshinsei.e-kanagawa.lg.jp/142077-u/offer/offerList_detail?tempSeq=63407

４　そ の 他　回答いただいた御意見は統計的に処理し利用しますので、個人情報や特定のデータが公表されることはありません。

事務担当　くらし安心部防災対策課危機管理担当
富岡・川田・山下
電　　話　０４６７－８１－７１２７（直通）

別紙

防災情報収集に関するアンケート調査

本市では、市民の皆様が確実に防災情報を収集することができるよう、防災行政用無線をはじめ、防災ラジオやメール配信サービス、テレビ神奈川（ｔｖｋ）データ放送など、様々な媒体を活用した情報発信の環境整備を進めてきました。

各種サービスを導入してから概ね１０年が経過する中、今後の情報発信の在り方を見直す検討材料とするため、市民の皆様にアンケート調査をお願いすることといたしました。

ぜひ、ご協力をお願いいたします。

１２月２９日（金） までに、次のいずれかの方法でご回答ください。

【回答方法１】　調査票に回答を記入して郵送で返送する

この用紙（調査票は次ページから）に回答を記入してください。 → 同封した返信用封筒に入れて郵便ポストへ投函してください。

【回答方法２】　スマートフォン、またはパソコンを使って答える

次の二次元コードまたは、ホームページアドレスから、回答フォームにアクセスして、ご回答いただき、送信してください。

ホームページアドレス：
https://dshinsei.e-kanagawa.lg.jp/142077-u/offer/offerList_detail?tempSeq=63407

◆この調査は、茅ヶ崎市在住の１８歳以上の市民３，０００人（各年代５００人ずつ）の方を無作為に抽出し、お送りしています。

◆ご回答いただいたご意見は統計的に処理し利用しますので、個人情報や特定のデータが公表されることはありません。

★この調査についてのお問い合わせ先★
〒２５３－８６８６　茅ヶ崎市茅ヶ崎一丁目１番１号
茅ヶ崎市　くらし安心部　防災対策課
電話番号　：０４６７－８１－７１２７　（直通）

あなた自身のことについておたずねします

【問１】 あなたの年代を教えてください。該当する番号を１つ選び、○をつけてください。

１．１０歳代	２．２０歳代	３．３０歳代	４．４０歳代
５．５０歳代	６．６０歳代	７．７０歳代	８．８０歳代以上

【問２】 お住まいの地域を教えてください。次の表から、該当する地域の番号を１つ選び、番号に○をつけてください。

地域名 （こちらに○をつけてください）	お住いの地区の住所表示（参考）
１．　南東部地域	旭が丘、幸町、汐見台、白浜町、出口町、常盤町、浜須賀、浜竹１～４丁目、東海岸北１～５丁目、東海岸南１～６丁目、菱沼海岸、ひばりが丘、富士見町、平和町、松が丘１・２丁目、松浪１・２丁目、美住町、緑が浜、若松町
２．　南西部地域	共恵１・２丁目、中海岸１～４丁目、中島、南湖２～７丁目、松尾、浜見平、柳島、柳島１・２丁目、柳島海岸
３．　西部地域	今宿、円蔵、下町屋１～３丁目、十間坂１～３丁目、新栄町、茅ヶ崎１～３丁目、南湖１丁目、西久保、萩園、浜之郷、平太夫新田、元町、矢畑
４．　東部地域	赤松町、円蔵１・２丁目、小桜町、小和田１～３丁目、松林１～３丁目、代官町、高田１～５丁目、茅ヶ崎、鶴が台、菱沼１～３丁目、本宿町、本村１～５丁目、室田１～３丁目
５．　北部地域	赤羽根、甘沼、香川１～７丁目、下寺尾、芹沢、堤、行谷、松風台、みずき１～４丁目

【問３】 同居する世帯（ご家族など）の、あなたを含めた人数を教えてください。該当する番号を１つ選び、○をつけてください。

１．１人（一人暮らし）	２．２人	３．３人	４．４人以上

【問４】 日中はどこで過ごすことが多いですか。該当する番号を１つ選び、○をつけてください。

１．市内が多い	２．市外が多い

普段の情報収集方法についておたずねします

【問５－１】 スマートフォンやタブレット端末を持っていますか。該当する番号を１つ選び、○をつけてください。

１．持っている（→**【問５－２】**へ）	２．持っていない（→**【問５－３】**へ）

【問５－２】 【問５－１】で「１．持っている」と回答した方におたずねします。次の中で、普段からよく利用している機能は何ですか。該当する番号を最大３つまで選び、○をつけてください。

１．電話	２．ＬＩＮＥ	３．その他ＳＮＳ	４．インターネット
５．メール	６．ＹｏｕＴｕｂｅ	７．その他アプリ	

【問５－３】 【問５－１】で「２．持っていない」と回答した方におたずねします。普段からよく利用している連絡手段や情報収集手段は何ですか。該当する番号を最大３つまで選び、○をつけてください。また、「８．その他」を選択の方は、（　　）内に、具体的に記入してください。

１．携帯電話（フィーチャーフォン、ガラパゴス携帯電話）		２．固定電話
３．ファックス	４．メール（パソコン）	５．インターネット（パソコン）
６．テレビ	７．ラジオ	８．その他（　　）

災害時の情報収集方法についておたずねします

【問６】 台風や豪雨、大地震などの災害時、あなたは特に、どのような情報を知りたいですか。該当する番号を最大３つまで選び、○をつけてください。「１０．その他」を選択の方は、（　　）内に、具体的に記入してください。

１．台風の進路や地震の概要	２．気象警報・注意報の発表状況	３．今後の天気
４．ハザードマップ	５．避難情報の発令状況や避難所の開設状況	
６．河川の氾濫や土砂災害の状況	７．道路や公共交通の状況	８．　市内の被害状況
９．津波や高潮など海の状況	１０．その他（　　）	

【問７】 災害時、あなたは主にどのような媒体を利用して収集していますか。また、情報収集しようと考えていますか。該当する番号を最大３つまで選び、○をつけてください。「９．その他」を選択の方は、（　　）内に、具体的に記入してください。

１．スマートフォンやタブレット端末	２．パソコン	３．携帯電話	
４．テレビ	５．ラジオ	６．家族や知人	７．防災行政用無線
８．市の防災ラジオ	９．その他（　　）		

【問８－１】 災害時、避難指示や避難所の開設情報など、市からの情報について、市は次の方法で情報発信しています。災害時に利用したいと思う情報収集の方法は何ですか。該当する番号を最大３つまで選び、○をつけてください。

１．防災行政用無線	２．防災・緊急情報（市ホームページ）
３．緊急速報メール	４．ＬＩＮＥ（市公式アカウント）
５．Ｘ（旧Ｔｗｉｔｔｅｒ）	６．テレビのテロップ
７．Ｙａｈｏｏ！防災（アプリ）	８．ちがさきメール配信サービス
９．市の防災ラジオ	１０．テレビ神奈川（ｔｖｋ）データ放送
１１．避難所の開設情報配信サービス「ＶＡＣＡＮ（バカン）」（ホームページ）	
１２．広報車による巡回広報	１３．この選択肢にはない（**【問８－２】**へ）

【問８－２】 【問８－１】で「この選択肢にはない」とお答えの方におたずねします。その理由はなぜですか。選択肢の中から最も当てはまる内容の番号を１つ選び、○をつけてください。「６．その他」を選択の方は、（　　）内に、具体的に記入してください。

１．テレビや通信などを利用できる環境にないから
２．機器やアプリなどの使い方がわからないから
３．家族や知人に聞くなど、他の方法で情報収集できるから
４．自分で情報を受け取っても対処方法がわからないから
５．情報収集の必要性を感じないから
６．その他（　　）

【問９】 【問８－１】の選択肢以外に、市の情報発信媒体としてあると良いものなど、アイディアがあれば自由にご記入ください。（例：Ｉｎｓｔａｇｒａｍ、防災に関する市のアプリなど）

防災行政用無線についておたずねします

【問１０】 防災行政用無線は、公園や小中学校をはじめ、市内１２０か所に設置している屋外スピーカーで、夕方のチャイムや「こちらは、防災ちがさきです」から始まる放送を流しています。あなたのお住まいの地域の屋外で、防災行政用無線は聞こえますか。該当する番号を１つ選び、○をつけてください。

１．放送内容がはっきりと聞き取れる
２．放送していることは分かるが、放送内容までは聞き取れない
３．全く聞こえない　　４．日中市外にいるため、わからない　　５．防災行政用無線を知らない

【問１１】 防災行政用無線の内容については、次の方法で確認できます。特に利用したいと思うものは何ですか。該当する番号を１つ選び、○をつけてください。「６．この選択肢にはない」を選択の方は、（　）内に理由を記入してください。

１．電話応答サービス（0467-82-5555）　　２．ちがさきメール配信サービス
３．市の防災ラジオ　　４．テレビ神奈川（ｔｖｋ）データ放送
５．茅ヶ崎市情報サイト（市ホームページ）
６．この選択肢にはない（理由：　　）